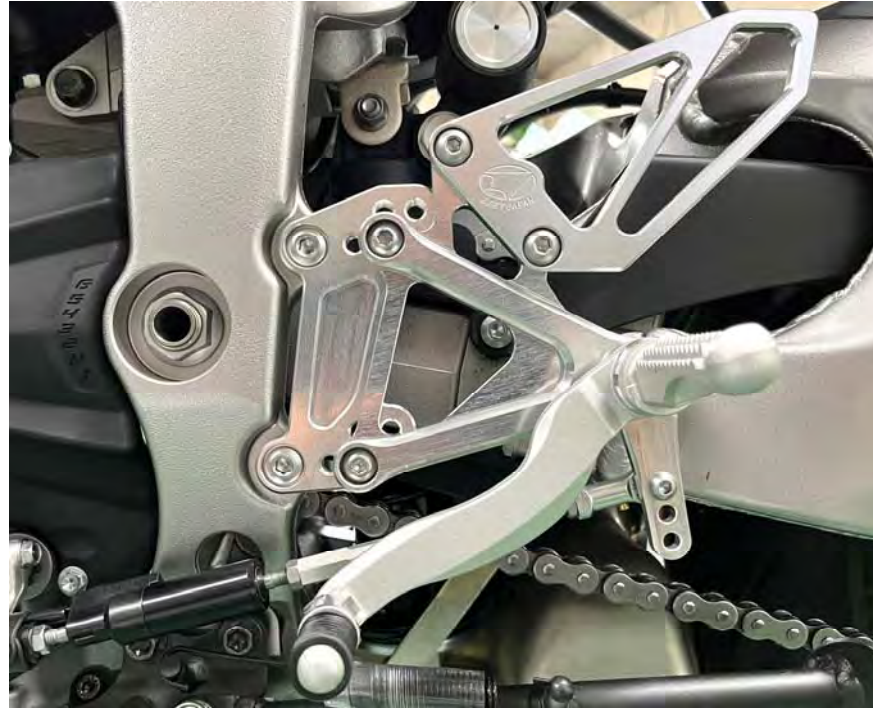


# KAWASAKI ZX-6R Hyper Bank < 取付説明書 >



## おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップパー	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。		
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理		
		➢ 4ポジション可変システム
		➢ ステップパー 固定式仕様

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に  
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

✧ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

## ブレーキ側( R )の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

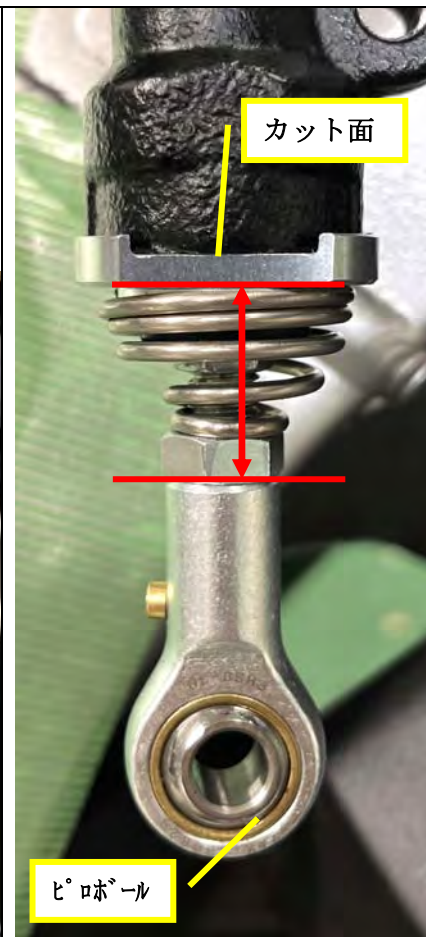
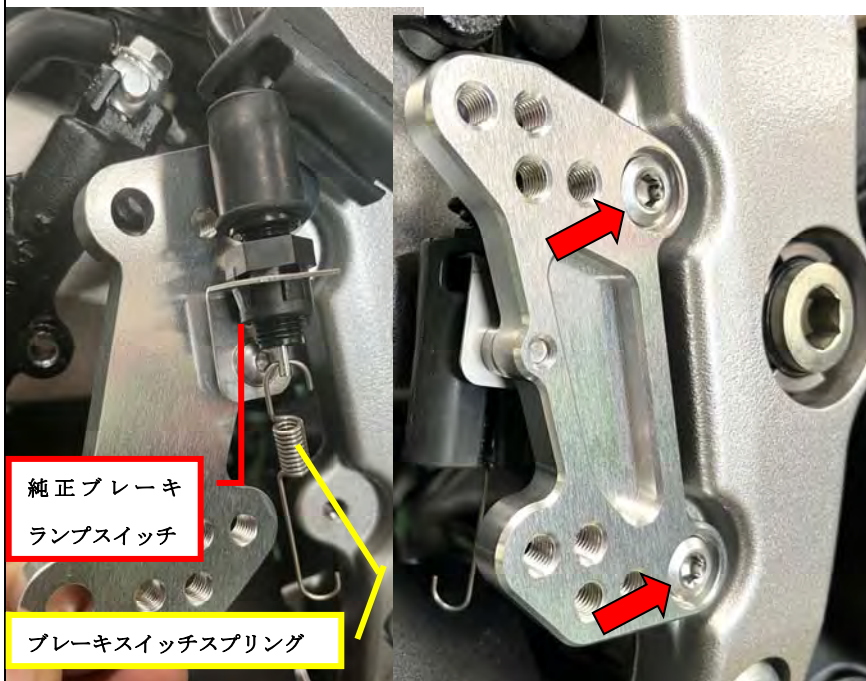
ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチをスイッチホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもスイッチホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回し、ノーマルステップをマスターシリンダーから完全に取り外します。  
( ※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します )

下図左の様に、純正ブレーキランプスイッチをステーに取り付け、スイッチスプリングもスイッチの穴に通しておく。

下図右の様に、純正ボルトを使用し、M8 ワッシャーをフレームとの間にはさみポジションプレートを取り付ける。

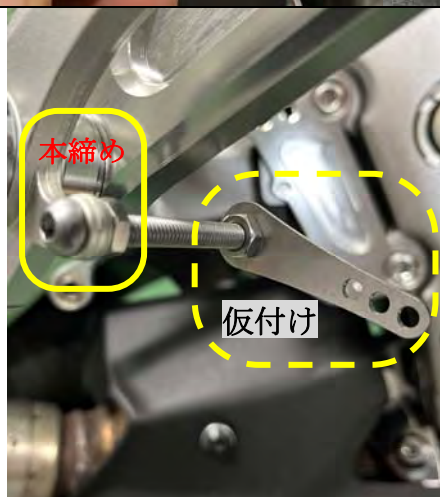


左図の様に、純正マスターシリンダーに

- a) H/B リターンスプリングカラー (カット面を手前)
- b) ペダルリターンスプリング No.10
- c) 純正 M8 アジャストナット

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの下端 との 距離を 20 mm ( ※ 左図矢印参照 ) に調整し純正アジャストナットで仮止めし、ピロボールも取り付けしておきます。

※後で要再調整



ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×55 を締め込み、裏から左図のように、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

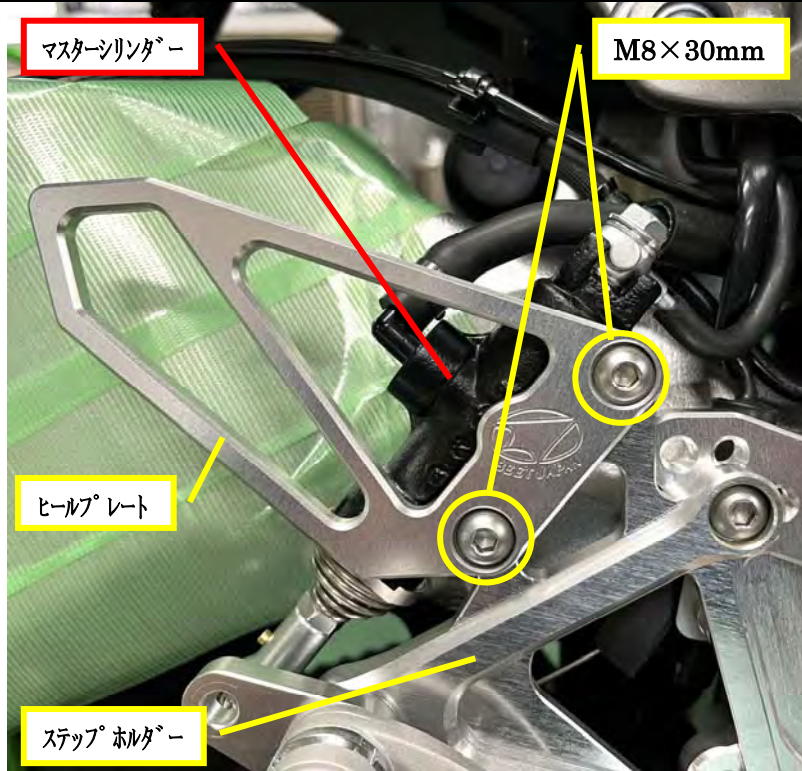
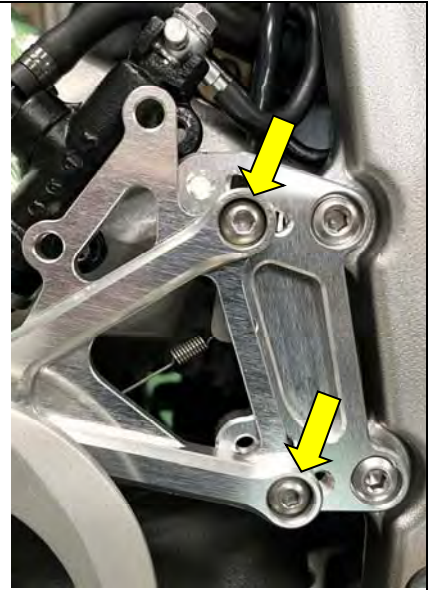
そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

ステップホルダーを取り付ける前に、ブレーキスイッチスプリングをステーの先端の穴に通しておく。



ステップホルダーを丸キャップボルト M8×15 で、好みのポジションに取り付ける。

※6 ページのポジション表を参考にしてください。

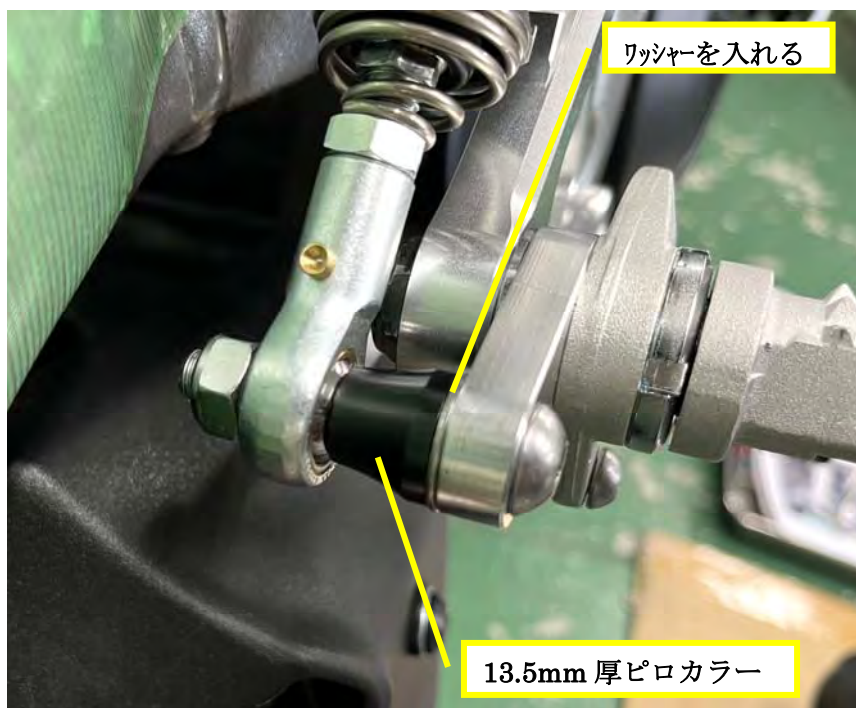


左図の様に、ヒールプレートとマスターシリンダーを丸キャップボルト M8×30mm でステップホルダーを挟み込む様に取り付ける。

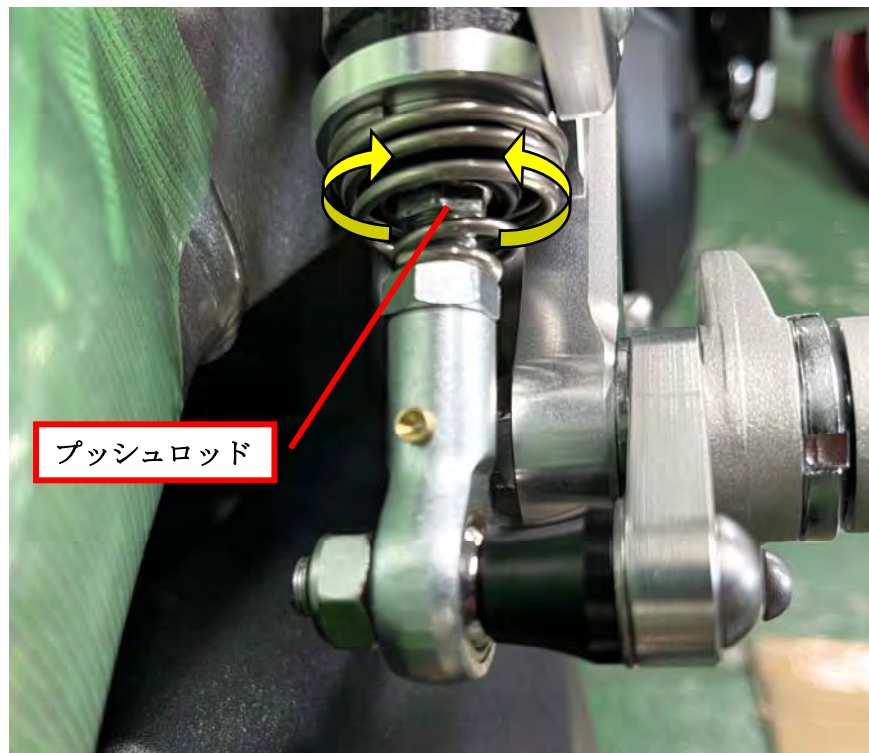
※右図の様に、リターンスプリングカラーの**カット面がヒールプレート側**になっている事を確認してください。



丸キャップボルト M8×45 と M8 ロックナットで、13.5mm 厚カラーと挟みピロボールに取り付け、マスターシリンダーとブレーキペダルを接合する。

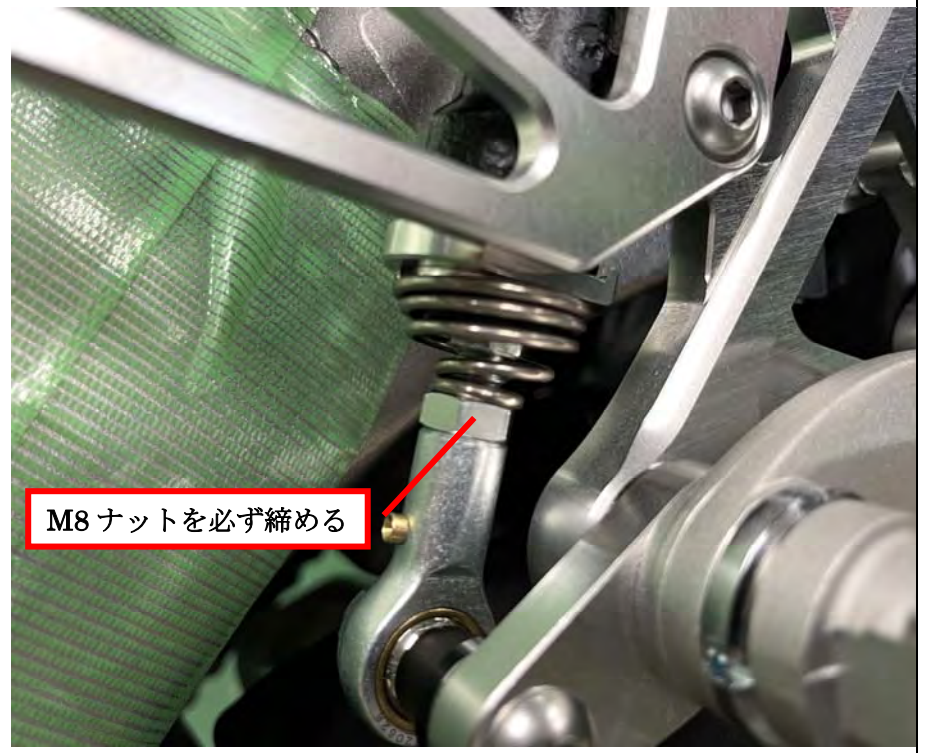


ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回転させ調整します。



プッシュロッド

ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。



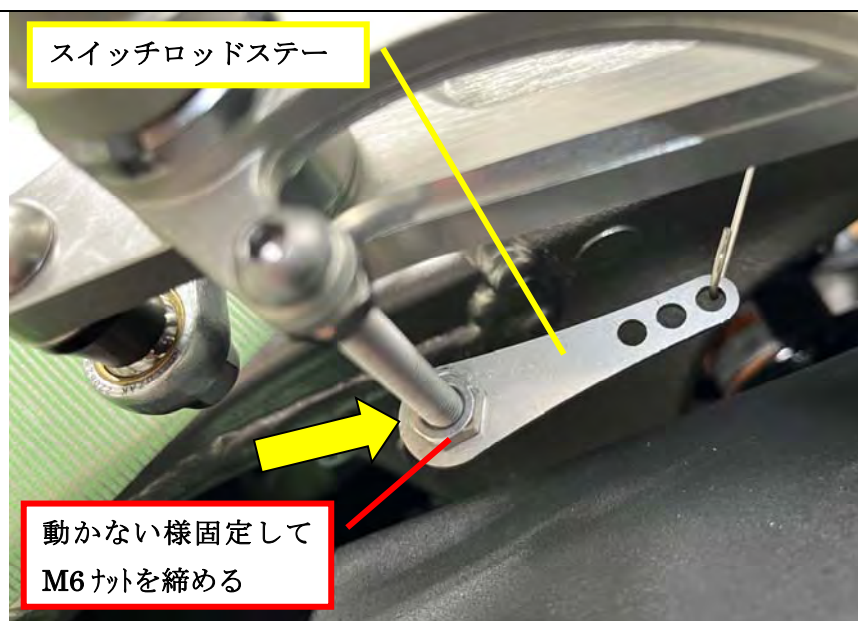
M8 ナットを必ず締める

▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…  
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…  
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

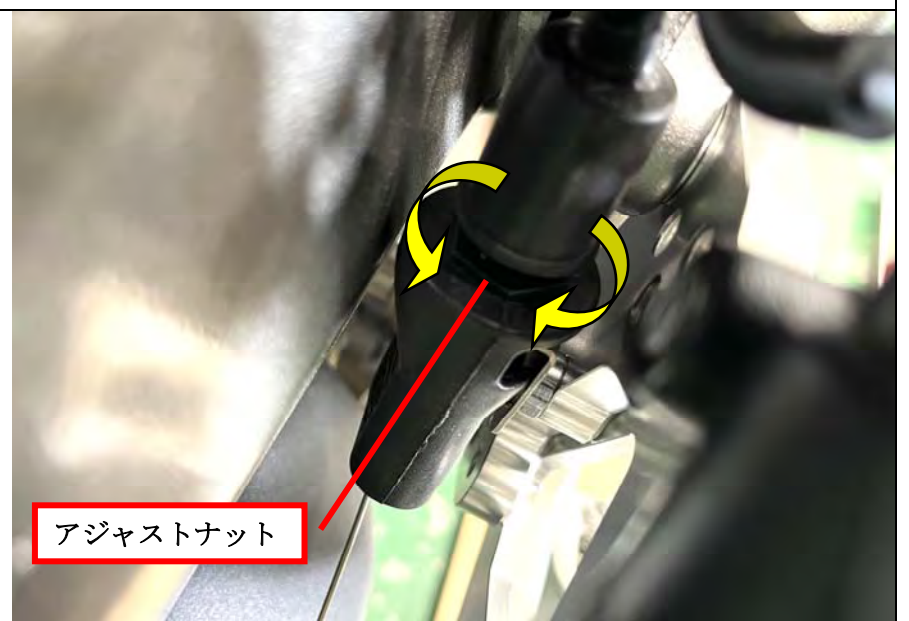
ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。  
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。



スイッチロッドステー

動かない様固定して  
M6 ナットを締める

スイッチロッドステーの固定完了後、ブレーキランプ点灯のタイミングの微調整を、**ブレーキスイッチのナット**を回して行う。**※調整の際ゴムカバーは上に引き上げておく。**



アジャストナット

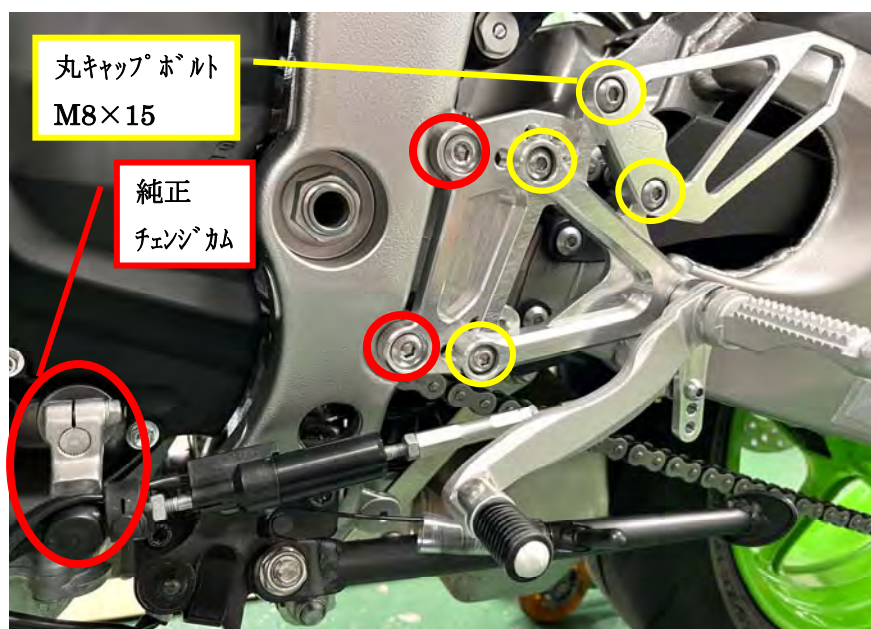
◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

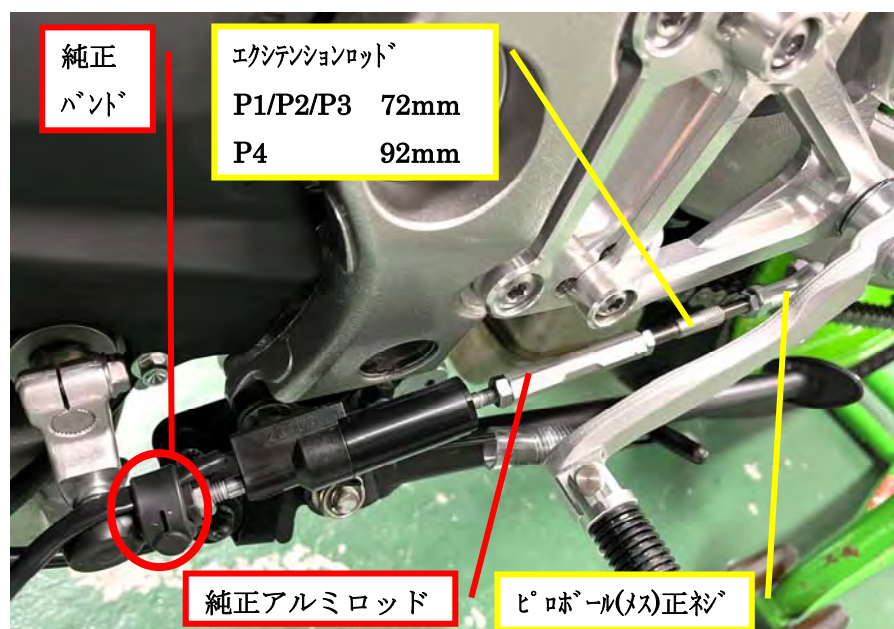
## LH (チェンジ側) の取り付け

- ▶ 純正シフトロッドのナットを緩め、シフトロッドを回転させ取り外す。※チェンジペダル側=逆ネジ / シフタースイッチ側=正ネジ  
純正チェンジカムとシフタースイッチはそのまま使用します。
- ▶ ノーマルステップを車体に固定している純正 M8 ボルトを外しノーマルステップを車体から外す。

ブレーキ側同様に、ポジションプレート(純正ボルト)、ステップホルダー/ヒールプレート(丸キャップボルト M6×15)を取り付ける。



ステンレス製エクステンションロッドで、純正アルミロッドとチェンジペダルのピロボールを接続する。  
※シフタースイッチ角度は純正状態を維持し、純正ゴムバンドを必ず取り付けること。



※ 最初の取り付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

チェンジペダル高さを、純正アルミロッドとエクステンションロッドの長さを調整し好みの高さに合わせる。  
調整後、必ず M6 ナットを本締めする。

※ シフタースイッチ、純正アルミロッド、エクステンションロッドを取り付ける際は、

- ▶ シフタースイッチ前後 M6 正ネジ
- ▶ 純正アルミロッド前側 M6 正ネジ
- ▶ 純正アルミロッド後側 M6 逆ネジ
- ▶ エクステンションロッド前側 M6 逆ネジ
- ▶ エクステンションロッド後側 M6 正ネジ
- ▶ チェンジペダルのピロボール M6 正ネジ

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上になるように注意して調整して下さい。

**チェンジロッドの脱落等の原因になります。!**

シフタースイッチが付いていない場合は、右図下側のエクステンションロッド / 4.5mm アルミロッド(黒色) / M6 ピロボール(オス正ネジ)を使用し、純正チェンジカムとチェンジペダルを接続する。

標準が一番上の位置で取り付ける  
下に下げるほど、ペダルストロークが短くなりますが、チェンジ操作が硬くなります。



シフタースイッチが付いていない場合は下図の部品を使用します

エクステンションロッド P1/P2/P3 190mm P4 205mm

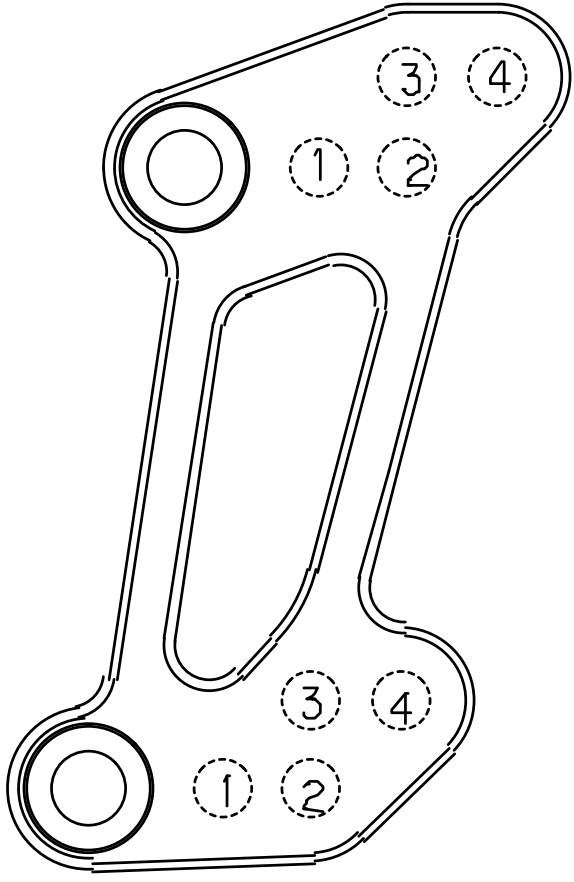


停車状態で、シフトチェンジ操作を 2～3 度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	<i>BACK</i>	<i>UP</i>	
<i>Pos.1</i>	<i>1 2 mm</i>	<i>1 2 mm</i>	
<i>Pos.2</i>	<i>2 4 mm</i>	<i>1 2 mm</i>	
<i>Pos.3</i>	<i>2 4 mm</i>	<i>2 4 mm</i>	
<i>Pos.4</i>	<i>3 6 mm</i>	<i>2 4 mm</i>	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションがありますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p style="text-align: center;">TEL. 072 (257) 7600 FAX. 072 (259) 6600</p> <p style="text-align: center;">(株) 日本ビート工業 まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ホームページ URL <a href="http://www.beet.co.jp/">http://www.beet.co.jp/</a></li> <li>➤ 商品関連 e-mail アドレス sales@beet.co.jp</li> <li>➤ 技術関連 e-mail アドレス support@beet.co.jp</li> </ul>	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0;"><i>BEETWebsite</i></p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0 0 0;">Web サイトを開設しております。 左記 URL にて ご覧下さい。</p>
--	--	--